

備前市教科書選定委員会議事概要

略称について

長（選定委員長）

委（選定委員）

研（研究部長）

音楽

委 大変わかりやすい説明だった。これからは特別支援教育の視点が大切ということだが、教育芸術社で顕著であった特別支援教育の視点による配慮とは、例えば何か。

研 例えば、リコーダーの運指番号がきちんと示してあった所が良いと思った。

委 教育出版社の教科書は低学年のものはやや小さめとなっている。教科書のサイズはやはり教科書会社が意図を持って工夫していると思うが、その点は話題になったか。

研 低学年向けに重さ等の配慮を感じたのは教育出版社。

委 教育芸術社のリコーダーの番号はやはり子どもにとっても見てわかりやすくとてもいいと思った。

委 やはり低学年からの積み上げは重要。そういった意味でも視覚的支援は有効。その点では、教育芸術社は妥当であると思う。

委 特別支援の視点でみても、また、指導者の視点から見ても教育芸術社は使いやすいと思う。

長 委員からのご意見も教育芸術社が多いようだが、採択案としては、教育芸術社ということで決定したいと思うがよろしいか。

委 一同賛成

図工

委 日本文教出版の総評の中に道徳との関連とあるが、その特徴についてもう少し具体的に教えてほしい。

研 もう一方は他教科との関連というのを重視していた。日本文教育出版は特に道徳との関連、例えば仲間づくりなどの関連をもたせやすいと思った。

委 開隆堂にはQRコードが多く有り、特に経験の浅い先生にとっては良いと感じるが、それでも日本文教出版がよいというのはどのような点か。

研 開隆堂のQRコードも魅力ではある。その動画は15秒程度。実際に授業をするとなると、授業の中で果たしてそれを見るだろうかという気もした。

研 おそらく家庭学習や夏休みの宿題で親と見ながら工作を作る等々ときには役にたつ。しかし、それがなくても授業は十分できる。また、子どもたちの発想力という意味では、日本文教出版のキャラクターのヒントの方がよいと感じた。

委 中学校との接続というのは例えばどういうことか。

研 小学校1、2年は幼稚園等でどんなことをやったかなという内容ではじまり、高学年では中学校へ向けてという内容があるという点である。

長 それでは報告をもとに採択案を決めたいと思う。

委 開隆堂も個性的な良さがある。実際、教科書としての使用を考えると、よりオーソドックスな日本文教出版が扱いやすいと思う。

委 私もQRコードなど、新しいものはすぐ魅力的と感じたが、やはり実際に使ってみた上での意見というのは説得力があった。

長 それでは、日本文教出版を採択案とさせていただいてよいか。

委 一同賛成。

家庭科

委 開隆堂は東京書籍より題材・単元数が多くなっているが、これはスモールステップということで捉えてよいか。

研 言われる通り、一つの題材を2つに分けるなどの工夫がされているようだ。

委 スモールステップの中で、特に、包丁等、安全面についての扱いは大切。安全面についても話題になったか。

研 まず、スモールステップについては、開隆堂は「なぜ〇〇だろう」というこどもの問いから始まる。続いてご飯をつくろう味噌汁をつくろうなど、細かく子供の思考に沿っている。対して、東京書籍はより大きなまとまりとなっている。

研 安全面については、どちらも大きく扱っている。左利きについての配慮もあり、安全について大変気を使っていると感じた。

委 いずれも写真がたくさん使われている。これは子どもにとって、非常にわかり易いと感じた。

委 昨今課題になっているゴミの問題についての扱いもあるのか。

研 いずれの教科書でも扱っている。

長 質疑の中でも、単元の細かなくくりや写真のわかりやすさという点で委員の皆さんのご意見は開隆堂が良いという方向でまとまっていたようだが、開隆堂でよいか。

委 一同賛成。

社会科

委 どの教科書も、出口の部分で「いかす」等といった発展の部分がある。言葉の違いはあるが中身はどうか。

研 表現の違いはあるが、求められていること自体は変わらないと思う。

委 調べるということについては、日本文教出版は本文が詳しい。これは、一方で子どもたちの調べ学習につながりにくいということはないのか。

研 調べ学習の点では、東京書籍は文章がすっきりしている印象がある。子どもたちに資料を読んで大切なことを読み取らせるということを意図した構成になっているように感じた。日本文教出版は資料を読まずとも本文ですべてが分かるというような構成になっているように感じた。

委 東京書籍は歴史の部分が別れていてわかりやすい。ドラえもののキャラクターも子どもにとっては親しみやすい。

研 ご指摘の通り、今度の指導要領から歴史の前に政治を学ぶようになった。そういった意味で、東京書籍では歴史と政治が分かれているのだと思う。

長 教師としての使いやすさはどうか。

研 それぞれに良さがあると思う。2冊であれば、明確に区別されており、分かり易さはある。1冊だといつでも立ち返れる良さがある。

委 中学校では2冊に分かれている。中学校への接続といった視点で出たのだろうか。

研 どの教科書でも中学校への学びのつながりという部分は意識されている。その点で、特段1冊か2冊かという部分での議論はなかった。

委 教科書展示会でのアンケートにあった歴史認識の記述についてはどうか。

研 日本文教出版については、排他的経済水域という言葉や、尖閣で不審者を取り締まる様子、米軍ヘリの不時着の写真等の扱いが充実していた。

委 中学年の学習はどうしても地域学習なので、授業では地域を取り上げて学習する。日本文教出版は岡山県を取り上げてはいたが、備前市たんけんという副読本が備前市教育研修所社会科部会で作られており、地域学習のために使われている。地域の扱いが多いというのはあまり比較の決め手にしないほうがよいと思う。

委 確かに地域学習の教材として備前市たんけんは本当によくできている。教科書としては、子どもに必要な考える力をはぐくむことを大切に考えたほうがよい。その意味では文章を読めば答えがすべて分かる教科書というよりは、調べ学習への発展性を重視したほうが良いと思う。

委 確かに岡山県の扱いについては副読本を活用する場面が多いことを考えると、どのような力を身に付けさせたいかを重視して選ぶほうが良いと思う。

委 荷物の負担を考えると1冊のほうが良いという気もするが。

長 ただ、最終的に自分の生活、問題を自分の身近な地域に戻すと考えた場合には、最終的には、やはり副読本に帰ることになる。地域学習においては、教科書よりも副読本の必要性が高い。

委 私もやはり、いかに岡山県が扱われているとはいえ、身近な地域をしっかりと学ぶという点では全国版の教科書では物足りないと思う。それを補うのが副読本の役割ということを考えれば、教科書における岡山県の扱いは決め手にはなりえない。あくまでも教科として、社会科の中で身に付けたい力を優先すべきである。その点で、東京書籍の教科書の構成は、社会科で働かせるべき見方・考え方が働きやすいのではないかと考える。

長 それでは、副読本との棲み分け、身に付けさせたい力の重視という観点を踏まえて、採択案としては東京書籍がより適切ということでしょうか。

委 一同賛成。

地図

委 主観的な部分になるが、配色等はどちらの地図が見やすいか。

研 おっしゃる通り、主観にならざるを得ないが、こうして比較してみると（両教科書をかざす）、どちらも多くの情報が入っている。帝国書院の方が文字等は見易いように感じる。東京書籍と比較して色がやや薄めになっており、混み合った感じがしないのかもしれない。

委 どちらの地図帳も災害に関する情報が扱われているが、その扱いはどうか。

研 （それぞれをかざして）それぞれこのように扱われているが、東京書籍はずっと古くからの災害が載っている。帝国書院は子どもたちが生まれて以降のものについて載っているという点が異なる。また、帝国書院の特徴としては防災マップ等子どもたちができる活動等を焦点化して掲載している。

委 確かに見やすさは主観が伴うが、部会でも複数の研究委員により、その点もしっかり検討された上での結論である。従って、ある程度客観性のある意見と考えてよいと思う。

委 私はもともと地図が大好きなので、地図帳は特にじっくり目を通してきた。確かに帝国書院のものは見やすく、必要な情報がずっと入ってくる。

研 地図帳については、見やすさが重要。その点では帝国書院。防災についても帝国書院の防災マップ等は、実際に子どもたちにとって必要な活動が載っているという点も重要かと思う。

委 私もやはり、見やすいのが一番重要だと思う。帝国書院がよいと思う。

委 調べ学習といった意味でも帝国書院のデータはしっかりしている。

長 それでは、帝国書院ということによろしいでよいか。

委 一同賛成。

書写

委 左利きについて示されているのが東京書籍だけとのことだが。

研 そのとおり。

委 実際に左利きの子がいた場合、先生が個別に指導するということか。

研 そうなると思う。

委 QRコードについては数社で扱っていたが、自主学习につなげるQRコード、発展のQRコード等の違いは何か。

研 実際にはまだリンク先が見られないので何とも言えない。タブレット等の活用により自主学习でも活用できるのではないかと考えている。

委 情報量の精選や、見易さといった点を重視しているように感じたが、書写ではやはり、きれいな字を書くということが大きなゴールとなるので、その点は重要なのか。

研 最低限のことがしっかりと子どもの目に入るということは重視した。特別支援の観点からも、不要な情報が少ない点も重要と考える。そういう意味で光村はよい。

委 やはり字を正しく書くという書写の大切な目標から考えると、すっきりとしている光村の方がよりよいと感じる。

長 それでは、光村図書を採択案としてあげてよいか。

委 一同賛成。

国語

委 24 節季についての取り上げられ方はどのようなものか。

研 24 節季があげられ、それにかかる季節の言葉等が挙げられている。

委 総評の中に漢字の広場が取り上げられているが。前学年の漢字が集中的に扱われているということが特徴なのか。

研 光村図書以外にもそのような扱いはある。当該学年の漢字を扱っているものと前の学年の漢字も扱っているもの2つのパターンがある。

委 2次元コードについて、研究段階でも見たか。

研 確認した。たとえば日本の文化であるコマについては、コマ遊びの動画が見られるなど、子どもたちがイメージや関心を持ちやすいものとなっていた。

委 動画と教科書で補完し合うというイメージか。

研 そのとおり。

研 親としては、文章力を身につけてほしい。スーホの白い馬など、昔から扱われている物語などは扱ってほしいという思いはある。

長 光村図書の中で、昔から変わらず扱われているものはあるか。

研 ごんぎつね等の定番の物語は変わらず大切に扱われている。どの教科書についても、説明文は時代とともに新しいものへと変わっている。

長 文章力・読解力をという意見があったが、その点はどうか。

研 光村図書は、スーホの白い馬や大造じいさんとがんでは、じいさんが昔語りの場面をカットするなどせず、原作のままとなっている。その点でしっかりと読みを深められることが期待できる。

委 なぜ光村図書以外では大造じいさんとがんの冒頭の場面など、一部がカットされているのだろうか。

委 大造じいさんと残雪の関わりに焦点化してということなのかもしれない。しかし、わらぐつの中の神様もそうだが、現在と過去を行き来する物語の二重構造まで読み取らせ、しっかりと読解力や文章力をつけるというなら原作に忠実な方が良いということと言える。

委 その他、光村図書のQRコードのリンクについては内容もしっかりしているようだ。

委 子どもが教科書を持って帰って来たとき、やはり自分が学んだ物語などがあるかどうかを真っ先にチェックする。残っていてくれるとすごく嬉しい気持ちになる。

長 漢字のことでも質問があったが。

委 前学年で既習の漢字について振り返る場면을敢えて入れているのかと思い質問した。なかなかそういう機会はないので大切な学習場面だと思う。その意味でも光村図書が良いと思う。

長 それでは皆さん、採択案としては光村図書に決定ということでよいか。

委 一同賛成。

算数

委 啓林館について、QR コードの豊富な練習問題とあったが教科書の中で扱われている練習問題は他社と比べて遜色なく、その上に QR コードがあるということか。

研 そのとおり。

委 主体的な授業づくりでは啓林館ということだが、もう少し具体的に教えてほしい。

研 学びの芽生えなどのコーナーが、先生が一方的にというのではなく、子どもたちへの投げかけから始まるような場面が随所にある。

委 割合の図表がよかったということだが、割合は子どもたちにとって課題となりやすい単元。もう少し具体的によさを説明してほしい。

研 線分図や数直線など、量感を表す図は各社取り扱っている。啓林館の特徴はやはり関係図。立式につながる図表で効果的だと思う。

委 いろんな場面で小学校の基礎的な算数が身につけておらず中学校で困る子どもが多い。やはり、先生が一方的に教えるのではなく、主体的な学びが大切と思う。

委 授業づくりとしても、子どもたちの力を伸ばすという意味でも啓林館はよいと思う。

長 それでは、子どもたちの主体的な学習、その他の観点でも啓林館が良いという意見が多いので、決定ということでよいか。

委 一同賛成。

理科

委 東京書籍の良さは何か。

研 見方・考え方を各社重視しているが、東京書籍は「ミカタ」として、いたるところで何について着目し、考えるべきかを問う構成となっている。また、レッツスタートという部分では子どもたちが学びに入る前に実生活とのつながりから課題や疑問をもつことができるよう工夫されており、主体的な学びにつながりやすいと考える。

委 学ぶ前の私と学んだあとの私という視点は面白いがどういう効果があるか。

研 学ぶ前の疑問を学んでいる間に忘れてしまうことがあるが、解決した後にそれを一度振り返る機会と捉えている。また、解決していなければ立ち返ることもできる。

委 キャリア教育の視点はどうか。

研 どの教科書にも触れられていた。

長 教科書は実生活での体験から学びが始まるという作りになっているということだが、その点について保護者としてはどうか。

委 すごくよいと思う。

委 QRコードについてはどうか。

研 どこも甲乙つけがたいと思う。

委 理科は、自然事象を捉えて科学的な見方を育てていくということがある。扱われている自然事象はどの教科書も変わらないと思うが、科学的な思考を育むための学習の過程を大切にしている東京書籍が良いとのことだった。まさに、そのとおりだと思う。提案どおり東京書籍が良い。

長 実生活からのつながりから学びが始まるという部分も含め、学習過程を大切にしているということで、採択案は東京書籍に決定でよいか。

委 一同贊成。

生活

委 単元の構成等についてのお話があったが、実際に先生が使う上での使いやすさや体験と教科書のつながりということで何か話題になったか。

研 どの教科書でもまつりが取り上げられているが、地域や自然との関わりという部分で光村図書が良いと感じた。

委 特にどこが優れていると思ったのか。

研 イラストと写真の使い方もとてもわかりやすい。また、特徴あるコーナーが設けられていた点も良いと思う。

委 季節感や季節の風物詩を表すためには写真とイラストが重要。その点についても光村図書は良いと思った。

研 そのとおりだと思う。

委 就学前とその後のつながりをという観点で比較するとどうか。

研 接続の観点でいうと、観点や項目を通してのつながりというのがあった。社会科や理科へのつながり方でも比較しても、光村図書がよいと感じた。

委 生活科ができた当初から、理科や社会の内容について、もっと身近なところから学習して理科や社会からつなげていくという狙いがあると思う。説明の中にはなかったが、研究資料の総評を見るとたしかに光村図書がよいと思う。

長 私の中でも生活は、例えば泥遊びという活動の中のこの部分は理科、この部分は社会科というような捉えだが、その点においても光村図書が優れているということか。

委 そう判断した。

委 やはり改めて見てみても、写真等の扱いは光村図書がよい。

長 それでは皆さんの意見としても、光村図書でよいか。

委 一同贊成。

保健

委 保健の特徴として、特に高学年は思春期でいろいろな葛藤があり、小中の接続が大切。その点でも学研教育みらいがよいか。

研 他の教科書でも意識されているが、学研教育みらいがより丁寧である。

委 学びのスタイルがしっかりできており、それが子どもたちの学びにあっているとのことだが、それを実際の生活に結びつけるという意味でも優れているということか。

研 学びの構成もそうだが、学び合うということ、発信したり受け取ったりしながらより身につく工夫がなされている。生活とのつながりという観点からも学研教育みらいがより良い。

委 保護者としても、学研教育みらいは本当にわかりやすく、大切なことが詳しく書かれており、よいと思う。

委 心身の変化がとても大きく中学校では保健は大切。小学校でしっかり保健の学習をしていくことで、中学校の多感な時期での保健の学習にもつなげていけると思う。

長 学研教育みらいは学習の流れにも沿っており、中学校とのつながりもしっかりと意識されている。わかりやすいというご意見が多いがどうか。

委 確かにそう思う。見やすいし、実際に使いやすいのだと思う。

長 それでは採択案については学研教育みらいということでよいか。

委 一同賛成。

外国語

委 外国語の授業の中では、やはりALTを上手に活用するということが課題となる。その点でも教育出版が良いのか。

研 どの教科書もコミュニケーションが重視されている。教育出版は、どの單元にもコミュニケーション活動が設定されている。

委 英語は、必要感と学びたいという意識が大切だと思う。その意味でもコミュニケーションという実際に使う場面が設定されている点はよい。4線については、中学校との連携から考えてどうか。

研 それぞれの教科書によって4線の比率が違う。We Canの4線は字のバランスが悪くなるという指摘が中学校からあった。そのWe Canに準じた4線を使用している教科書も多くある。その意味でも、教育出版は字のバランスを重視し、比率を工夫した特徴的な4線が、すべてのページにあるという点がよいと思う。

委 小学生にとっては、いきなりアルファベットが並ぶと拒絶反応が出る恐れがある。その点ではやはり写真が多いのはよいと思う。小学校では書くことよりも話すことが中心になる。その点でもよいと思う。

委 私も子どもにとっては、視覚から入るのが良いと思う。また、先程の線の比率についての説明は納得させられた。

長 いきなり文字よりは、写真や絵から入る方がよいという意見が出たが、その点についても教育出版がよいという意見はあったのか。

委 実は各社厚さや大きさは様々。教育出版はその中で中間に位置する。基本的に同じ情報量で考えると、面積が広いほうがすっきりするが、教育出版は、面積は決して大きくはないものの、スッキリとして見える情報量であったという点も、子どもたちから見ると受け入れやすいのではないかと判断した理由の一つ。

長 先程、4線については中学校の先生の意見についても話があったが、その点についてどう考えるべきか。

委 やはりこれからは、英語については小学校の学習が基本となる。従って、その点は尊重し、大切にしておくべき。

長 その意味でも、教育出版は中学校での学習もきちんとケアしているということ。

委 中学校の教科書を見ると情報量の多さに思わず「うっ」となる。その点を考えても英語をはじめて学ぶ小学生にとって、特に見た目の受け入れやすさは大切。

長 先程の説明にも教育出版の教科書は、サイズは決して大きくないものの情報量はスッキリと整理されているという話もあった。そうした話も踏まえて提案通り教育出版ということではどうか。

委 一同賛成

道徳

委 道徳ノートがある教科書会社が2社あったが、その点についてどうか。

研 道徳ノートは確かによく考えられている。しかし、先生がしっかり考えさせたいところ等を工夫する際には、ないほうがよい場合もある。

委 議論する道徳という観点では、本当に議論できるような資料となっているのかということが重要。その点でも光村図書が良いのか。

研 どの教科書も考えられているが、中でも光村図書がよいと思う。

委 保護者としては、子どもたちが家に帰って道徳について話したり教科書を見たりする中で、どう考えるか。

委 中身としては、どれも遜色ないように思うが、好みはあると思う。

委 参観日で道徳の授業を見た時、教科書は、特に導入部分で問題提起に使うということが多く、授業自体は話し合いが多いような印象。その点で、教科書は、子どもたちの興味を引いたり、すっきりとして見やすかったりということが大事ではないかと思う。

長 挿絵という点での議論はあったのか。

委 確かに挿絵が目を引きやすいものもある。その点については好みもあると思う。すっきりとした印象で、好き嫌いが少ないという部分が光村図書のよさでもあると思う。

長 道徳ノートについてはどう考えるか。

委 確かに便利ではある。しかし、ある以上は、それを埋めることが中心の授業展開や授業づくりになってしまう可能性がある。そのことにより、子どもたちや学級の実態に合った授業になりにくいかもしれない。手間はかかるが、先生がワークシート等を作ったほうが、よりよい授業となるように思う。

長 資料についてはどうか。

委 資料は確かに工夫されていると思う。

長 議論をするという点では、必ずこうでなければならないというのではなく、多角的に考えるということが重要。子どもたちの思考の流れに沿った教科書であるという点で、光村図書に決定してよいか。

委 一同賛成。